

## 第3分科会

### 「チーム学校」の一員として ～組織をつなぐ～



提 案 者 海田町立海田南小学校 用免 陽子  
三原市立三原小学校 西隅 祐介  
福山市立済美中学校 池永 浩司  
司 会 者 尾道市立長江小学校 皿田 稚子  
記 録 者 安芸高田市立来原小学校 林 貞行  
三次市立酒河小学校 斉木 升恵  
助 言 者 広島大学大学院 教育学研究科  
教授 林 孝  
分科会責任者 尾道市立長江小学校 皿田 稚子

（参加人数 88名）

### 提案の概要

今、社会の変化と学校教育をめぐる諸情勢から、事務職員の仕事に大きな「期待」がかけられている。昨年4月、学校教育法が改正され、第37条において事務職員は「事務をつかさどる」と規定された。事務職員に、より広くよりレベルの高い役割が求められている。

研究部では、平成30年度の研究テーマを「チーム学校の一員として組織をつなぐ」として研究してきた。県内の取組を具体的にあげながら、「つかさどる」事務職員に求められる役割は何か、それをどう果たしていくのか提案し、論議を深めた。

### 討議の内容

討議の柱に沿ったワークシートに基づき、グループ討議（4～5人）を行い、活発な意見交換のあと、グループごとに発表を行った。

- ・ 専門スタッフとして、様々な制度を理解し、制度と人をつなげることが必要。つなげることで児童生徒の教育環境や職員の働きやすい環境を整備したり、実態を基に行政と連携している。
- ・ 事務職員にしかできない専門性を生かした学校経営への貢献。「つかさどる」は、主体的にできることをやっていくということではないか。

助言者の林孝教授より、まとめとして次のようにお話いただいた。

### まとめ

「つかさどる」とは、他人から言われて「従事する」のではなく、自らが自分のこととして自分の勤務する学校のありようをふまえ、何が提供できるのか提案するという姿勢が大切。「つかさどる」という仕事は「既にこれまでもやってきている」と思い当たると思う。平成12年に行った調査において既に全体を把握しながらどう行動するかを考えていた。その当時、既に「つかさどる」を意識していたということ。

「つかさどる」ためには、「〇〇とともに」という視点が非常に大切。学校とともに、子供とともに、保護者とともに、地域とともにやっていることが大事。「〇〇とともに」の視点で自己の職責を果たす事務職員であることをめざしていただきたい。